

佐賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

令和5年8月30日（水）



目次

- 01 デジタル田園都市国家構想総合戦略について
- 02 第2期佐賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について
- 03 次期総合戦略の策定（案）について
- 04 2040年の佐賀市の未来について（意見交換テーマ）
- 05 今後の進め方（スケジュール）

目次

- 01 デジタル田園都市国家構想総合戦略について
- 02 第2期佐賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について
- 03 次期総合戦略の策定（案）について
- 04 2040年の佐賀市の未来について（意見交換テーマ）
- 05 今後の進め方（スケジュール）

国と地方のまち・ひと・しごと創生総合戦略

まち・ひと・しごと総合戦略とは

人口の現状と将来の姿を示し、今後目指すべき将来の方向を実現するため、今後5か年の目標や施策の方向性等を提示するもの

【国】第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略 (2020年改訂版)

目指すべき 将来像

- 将来にわたって「活力ある地域社会の実現」
- 「東京圏への一極集中」の是正

基本目標・ 施策の方向性

- 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする
- 地方とのつながりを築き、地方への新しい人の流れをつくる
- 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

横断的な 目標

- 多様な人材の活躍を推進する
- 新しい時代の流れを力にする



国の総合戦略を勘案

第2期佐賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略 (2021年3月改訂版)

めざす まちの姿

- 豊かな自然とこどもの笑顔が輝くまち さが
- 人口ビジョン(2060年、人口20万人の維持)の実現

基本的な 考え方

- 「人口減少問題の克服」と「地域経済の活性化」の実現
- 市の強みである“暮らしやすさ”を生かして多様な人材を呼び込むとともに、その人材を生かして産業振興を図り、経済の活性化につなげる、その強い経済を背景にさらなる暮らしやすさにつなげる「好循環」をつなげる

基本目標

- 暮らしやすさに磨きをかける
- 都市の魅力を高め人を惹きつける
- 多様な人材で強い経済をつくる

国のまち・ひと・しごと創生総合戦略の抜本的な改訂

基本的な考え方

～「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指して～

- デジタルは地方の社会課題を解決するための鍵であり、新しい価値を生み出す源泉
- 今こそデジタル田園都市国家構想の旗を掲げ、デジタルインフラを急速に整備し、官民双方で地方におけるデジタルトランスフォーメーション（DX）を積極的に推進

まち・ひと・しごと創生総合戦略を抜本的に改訂

「デジタル田園都市国家構想総合戦略」の策定

2022年12月23日 閣議決定



デジタル田園都市国家構想総合戦略のポイント

「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指す



デジタルの力を活用した地方の社会課題解決

- 地方に仕事をつくる
- 人の流れをつくる
- 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- 魅力的な地域をつくる

地方のデジタル実装を下支え

構想を支える
ソフト・ハードの
デジタル基盤整備

デジタル人材の
育成・確保

誰一人
取り残されない
ための取組

POINT

- 「基本目標」は、改訂前のまち・ひと・しごと創生総合戦略から大きな変更はない。
- デジタル技術を社会課題解決の鍵と捉え、官民双方で地方における積極的なDX推進を行う。

目次

- 01 デジタル田園都市国家構想総合戦略について
- 02 第2期佐賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略
の改訂について**
- 03 次期総合戦略の策定（案）について
- 04 2040年の佐賀市の未来について
（意見交換テーマ）
- 05 今後の進め方（スケジュール）

第2期佐賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について

01 第2期総合戦略の期間

- 令和2年4月～令和7年3月の5年間

02 背景

- 令和4年12月、国が「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定
- 基本目標は、改訂前のまち・ひと・しごと創生総合戦略から大きな変更はない。
- デジタル技術を社会課題解決の鍵ととらえ、地方における積極的なDX推進を行う。

03 令和5年度の改訂内容（案）

- 期間の残りが1年であるため、国と同様に基本目標は変更せず、部分的な改訂とする。
- 基本目標を達成するため、デジタルの力を活用することを追記
- 詳細は【資料2】改訂（案）、【資料3】新旧対照表のとおり。

目次

- 01 デジタル田園都市国家構想総合戦略について
- 02 第2期佐賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について
- 03 次期総合戦略の策定（案）について**
- 04 2040年の佐賀市の未来について（意見交換テーマ）
- 05 今後の進め方（スケジュール）

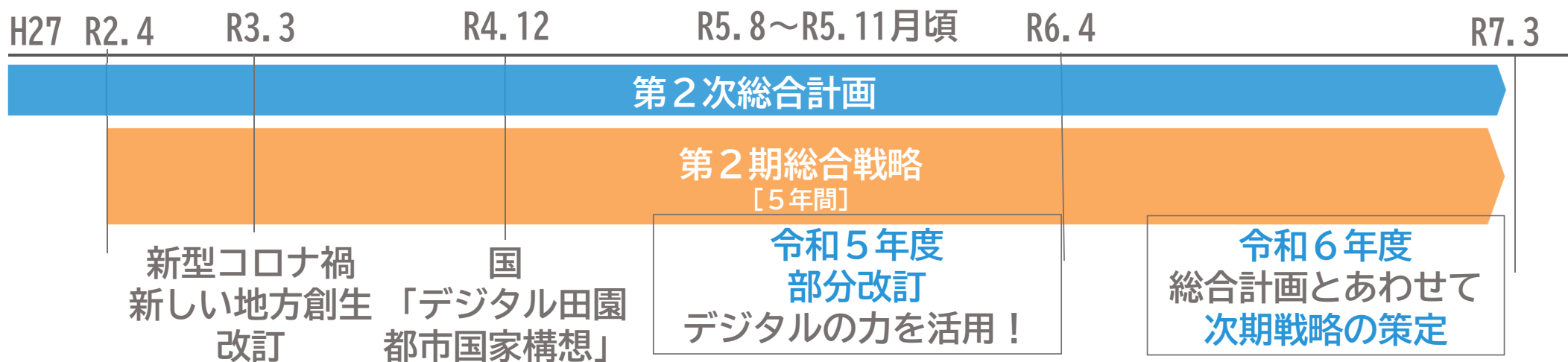
次期佐賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略（仮称）の策定について

01 背景

- 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略と第2次佐賀市総合計画が令和7年3月（令和6年度）に終期を迎える。

02 内容

- 令和6年度に総合戦略と総合計画をあわせて策定する。



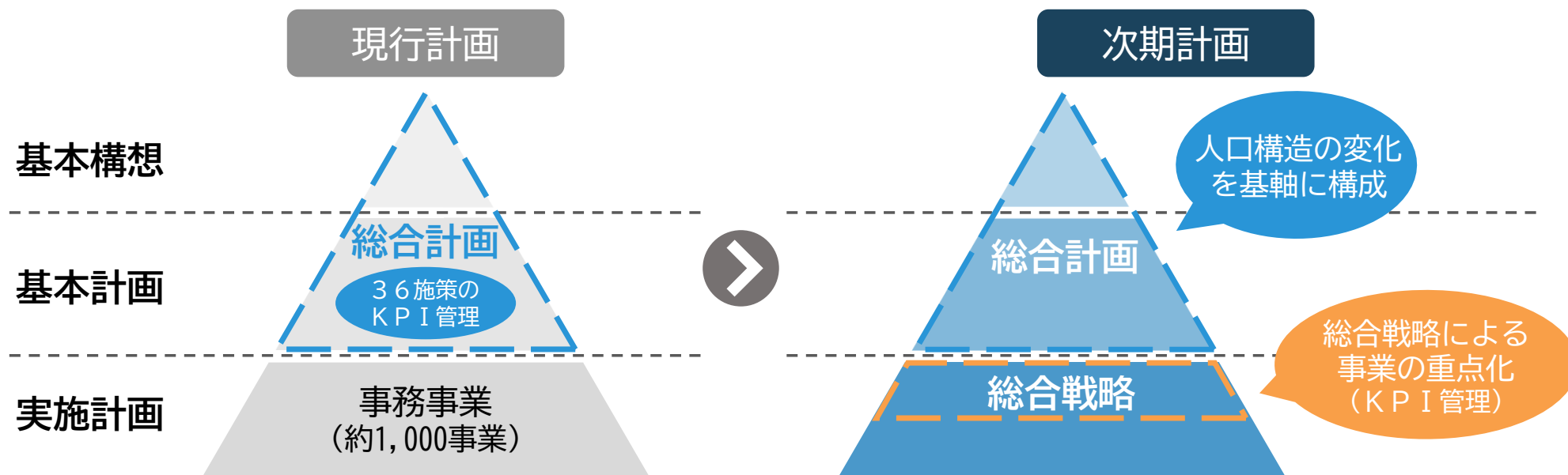
次期総合戦略の構成（総合計画との関係）

策定のポイント

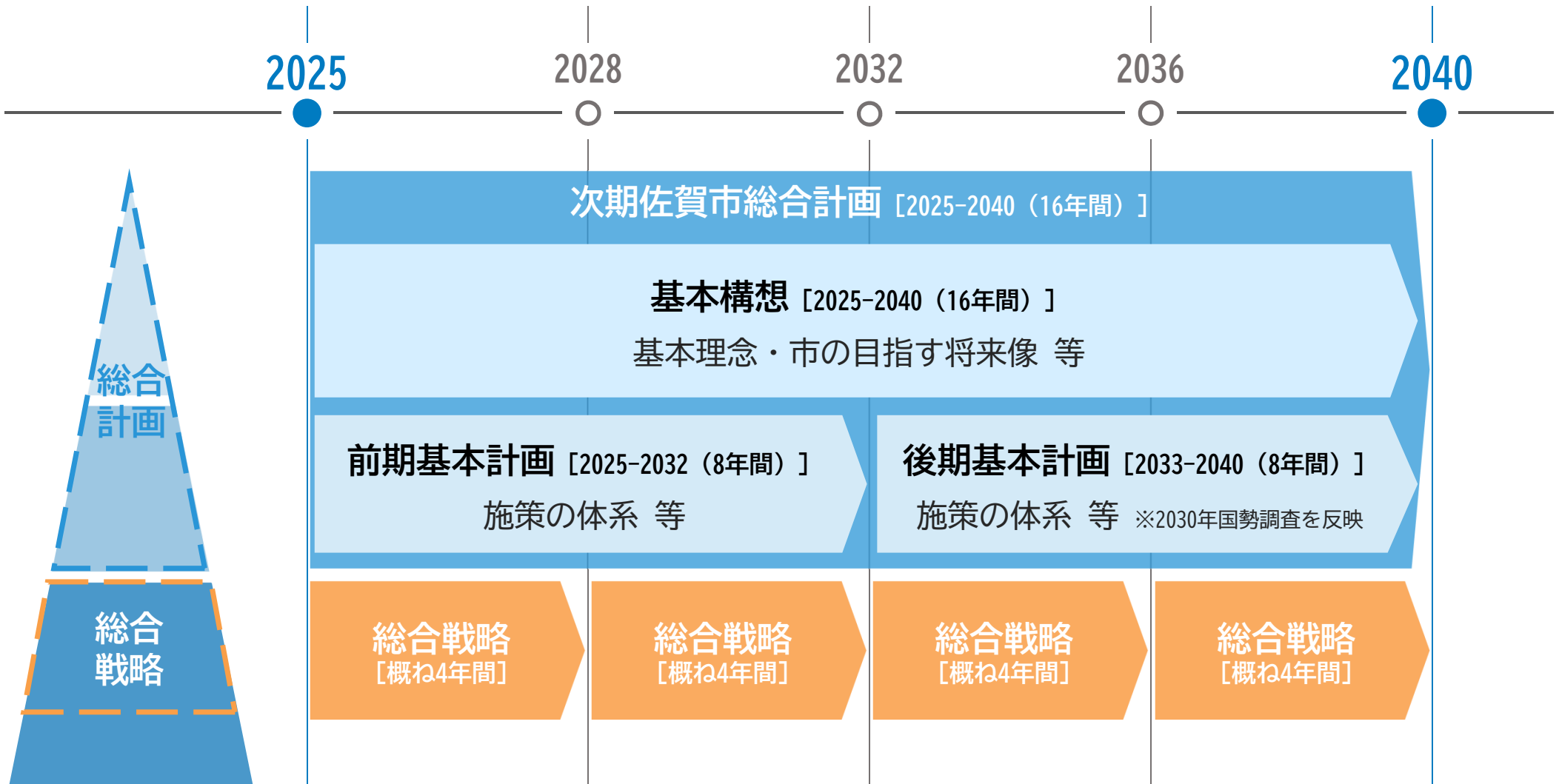
- 現行の総合戦略と総合計画では、それぞれで成果指標を管理（指標が重複する項目も散見）
- 総合戦略のテーマである「人口」は、次期総合計画の基軸に据える方針

次期総合戦略と総合計画の関係を再構築

- 成果指標は、次期総合戦略において設定する（総合計画には、主要なアウトカム指標のみ設定）。
- 総合戦略と総合計画の守備範囲を明確化し、それぞれの計画の連動性を向上する。



次期総合戦略の計画期間



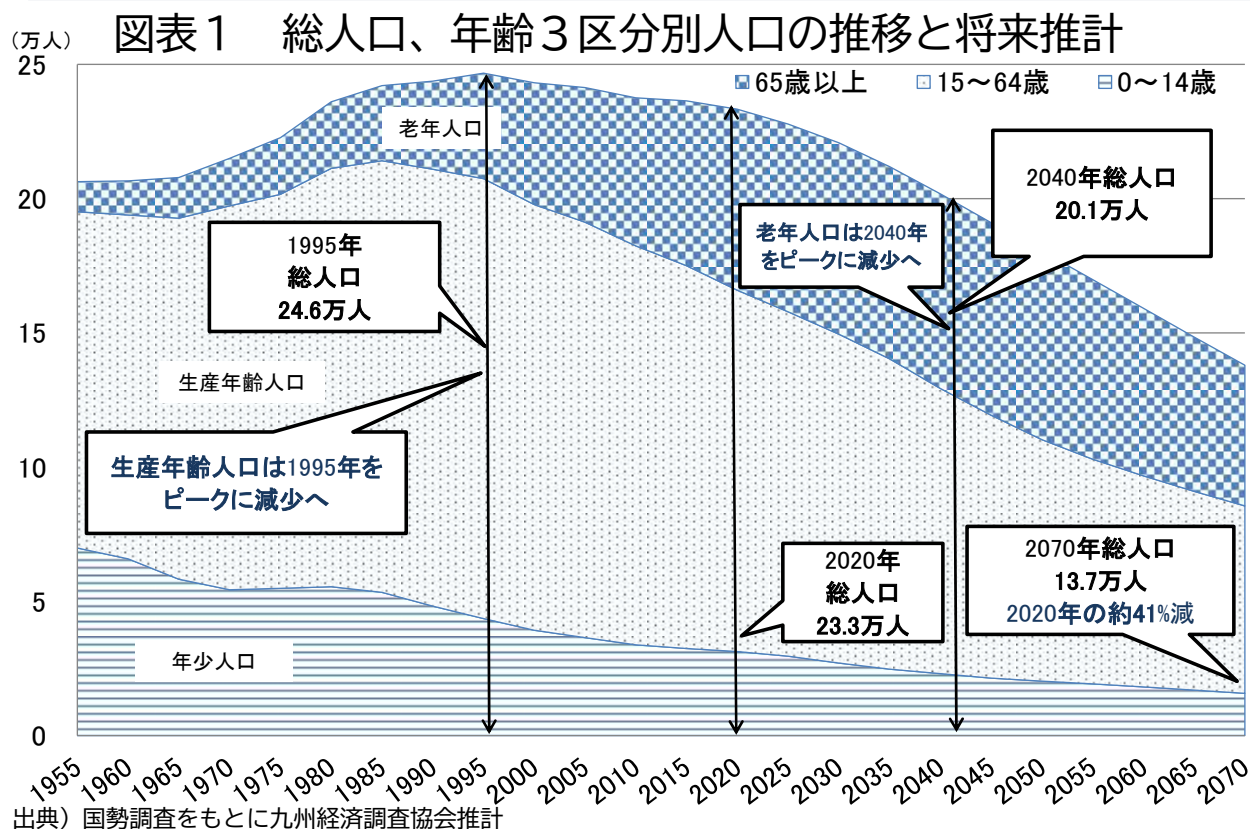
目次

- 01 デジタル田園都市国家構想総合戦略について
- 02 第2期佐賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について
- 03 次期総合戦略の構成（案）について
- 04 2040年の佐賀市の未来について
（意見交換テーマ）**
- 05 今後の進め方（スケジュール）

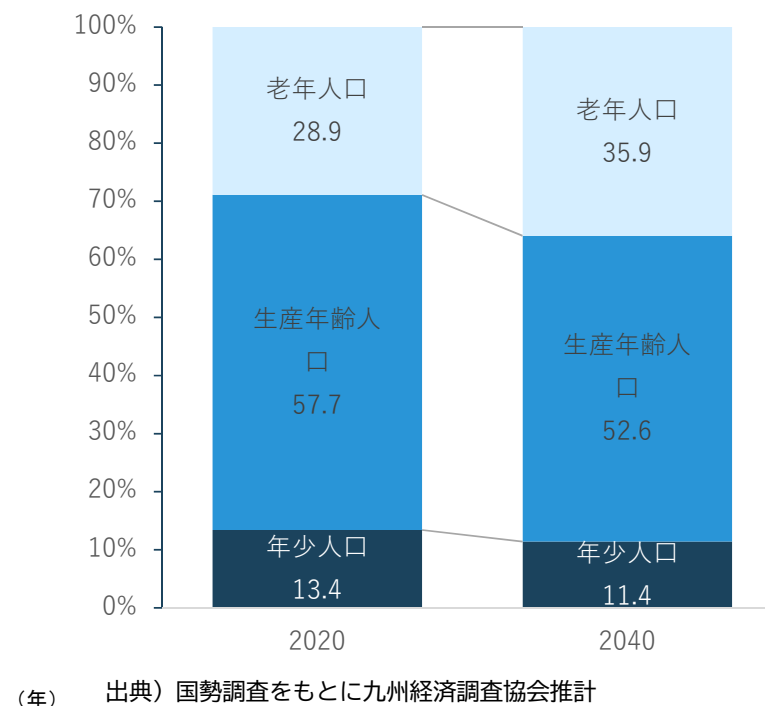
総人口推計

ポイント

- 総人口は2040年に**20.1万人**と、2020年（23.3万人）比で**14%減**になると推計。
- 年齢区分別では、老年人口は増加を続けているものの、2040年にはピークを迎え減少へ転じる見込み。



図表2 年齢3区分別割合（2020年、2040年）

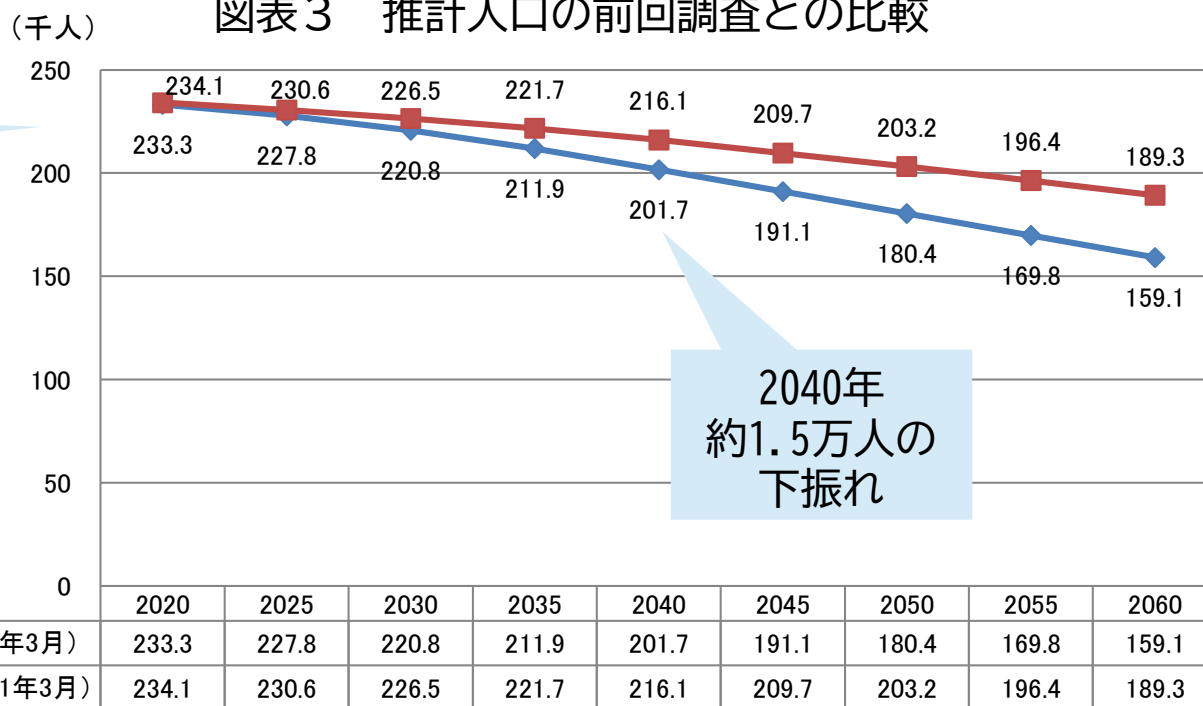


総人口推計 前回との比較

ポイント

- 前回調査（佐賀市人口ビジョン（改訂版）（平成31年3月））と比較すると、2040年時点で約1.5万人の下振れ
- 主な要因は、推計基準年である2020年国勢調査の20歳代人口（特に女性）が前回推計値以上に減少したことによる。

図表3 推計人口の前回調査との比較



2020年
827人の下振れ

2040年
約1.5万人の
下振れ

出典) 国勢調査をもとに九州経済調査協会推計

佐賀市経済の現状と課題

都市圏の人口減少による需要減への対応

対応策

課題

- 都市圏全体の人口減少により、市産業の中心である生活基盤型のサービス業が縮小する恐れ

※中部広域連合構成自治体（佐賀市、多久市、小城市、神崎市、吉野ヶ里町）の人口は2040年には30万人を切ると推計（2020年比で14%程度減）

より広域の需要の獲得

- SAGAアリーナ等を活用したエンタメ産業や観光、クリエイティブ産業等のより広域需要を対象とした産業の振興により、経済構造を転換し、従来の都市圏人口に依存した経済からの移行を進める。

市民の所得向上

- 「1 粗付加価値率の改善」「2 自給率の向上」等による市内経済循環を高めることで、所得の向上を図る。

市内消費喚起

- 商品券等の市内消費喚起策
- ウォーカブルシティ形成促進による「外出したくなるまちなか」、「回遊できるまちなか」の構築

目次

- 01 デジタル田園都市国家構想総合戦略について
- 02 第2期佐賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について
- 03 次期総合戦略の構成（案）について
- 04 2040年の佐賀市の未来にむけて
（意見交換テーマ）
- 05 今後の進め方（スケジュール）

今後の進め方（スケジュール）

今回

[R 5年8月30日（水）]

佐賀市まち・ひと・しごと創生推進会議開催

- 令和5年度改訂（案）について協議

[R 5年10月～11月頃]

第2期佐賀市まち・ひと・しごと総合戦略 改訂版施行

- 推進会議での協議事項に基づき部分改訂

[R 6年度]

佐賀市まち・ひと・しごと創生推進会議開催

- 次期総合戦略（案）について協議
- 年3回程度、会議の開催を予定

[R 7年4月]

第3期佐賀市まち・ひと・しごと創生総合戦略（仮称）施行

- 次期総合戦略の施行